
本当に無限な無限航路

曙 寛

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

本当に無限な無限航路

【Nコード】

N0742BA

【作者名】

曙 寛

【あらすじ】

無限航路の二次小説です。ユーリへの憑依ではなく、一人の人間として生きていきます。

神に殺された一人の青年は新しい世界で何を思い、何を成すのか。

プロローグ 始まり(前書き)

がんばります。

プロローグ 始まり

「ここは・・・どこだ？」

「ここに名はない。」

誰だ？あんたは？俺はどうなったんだ？

「ワシは、お前らの言う神だ。」

！そうでしたか。神様。失礼しました。

「よいよい。わしのミスでお前は死んでしまったのだからな。」

神でも失敗するのですね。何故俺をここに呼んだのですか？

「怒らんのか？」

あまり未練はないので。ところで、死んだのなら早く天国でも地獄でも送ればいいのでは？

「いや、お前は謝罪を込めて生まれ変われさせてやろう。行きたい世界はあるか？」

では・・・創作の世界なのですが、『無限航路』の世界にしていただきませんか？

「よからう。お前は良い人間だったようだな。特別に何か欲しいものはあるか？」つやろう。」

ありがとうございます。では、1つ目は、俺に知識をくれませんか？艦船を設計できるほどの。

それ以外は神が決めていただいてかまいません。

「わかった。転生でよいのだな？では、お前は無限航路に限りなく近い世界に行くことになる。前世の知識も役に立つだろう。」

はい。では行ってまいります。

「お前は17歳のジン・ストラードという青年となり、ラッツィオという星に生まれることになる。時期は原作開始直後。では、いくぞ！！！！」

そして俺は意識を失った。

俺、ジン・ストラードは、カプセルのようなベッドの上で目が覚めた。

「同じは…?」

俺はとりあえず外に出た。家のポストには、ストラードと書いてあり、自分の家であることが分かった。外観はゲームに出てきたカリオの家のような感じだったが、俺は宇宙^{そら}に出る気なので、短いつきあいである。俺は町を見るため、町に向かった。

町に向かうと、店先に服を並べていた人が声をかけてきた。

「よう！あんたが引っ越してきた奴か!？」

どうやら俺は引っ越してきたことになっているらしい。よく分からないので、「そうです。ジン・ストラードといいます。」というと、彼はニカッと笑って、

5

「ジン、か。俺はシツカス。よろしくな!」

「ああ。よろしくな。ところで、今度町を案内してくれないか?早くこの地理を把握したいんだ。」

「いいぜ。明日は休みだから案内してやるよ。」

「ありがとう。」

その後俺は家に帰った。町で迷ったら大変だし、案内もあるので焦る必要は無いからだ。

「さて。今の状況を把握しようか。」

家の机には、クレジッタと、衣服、それと本が置いてあった。

ジンへ

この紙にはこの世界の説明などが書いてある。よく読んで新しい生活に役立てて欲しい。これがお前への最後の手伝いだ。

どうやらこの本は神様がくれた物のようだ。神の手伝いもこれで最後なのだろう。

俺は本を読み始めた。そこそこ分厚いが、何もすることが無いのでかまわない。

やっと全部読み終わった。500ページほどあったので、結構時間が掛かってしまった。

書いてあったことを纏めると、

この家は中央街（酒場とか軌道エレベーターがあるところ）から2キロほど離れたところにあること。

クレジットには70000Gはガットいっており、生活必需品はすでにあること。

この世界には、和服などの前世の文化が生きていること。
などなど……

など、数多くの役立つ知識が書いてあった。

ふと外を見ると、もう暗くなっていた。俺は明日に備え、寝ようと

思った。

カプセル型のベットに入るのには勇気がいるが、いざ入ってみると、とてもフカフカで気持ちよかったので、すぐに寝てしまった。

ブログ 始まり(後書き)

QOLさんやOシユウトOさんの小説を読んで自分も書きたくなりました。

無限航路のファンが増えてくれればうれしいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0742ba/>

本当に無限な無限航路

2012年1月2日10時50分発行